

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称:	HB ワイピングステイン ブルー
供給者の会社名:	株式会社キャンディルデザイン
住所:	神奈川県川崎市宮前区有馬 8丁目 3-11
電話番号:	044-863-9112
推奨用途:	木工製品、その他
使用上の制限:	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分 2

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 2

発がん性 区分 2

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 2（腎臓）
区分 3（気道刺激性、麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（神経系）
区分 2（中枢神経系）

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）、分類できないのいずれかに該当する。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H225	引火性の高い液体および蒸気
H315	皮膚刺激
H319	強い眼刺激
H335	呼吸器への刺激のおそれ

H336	眠気またはめまいのおそれ
H351	発がんのおそれの疑い
H371	臓器の障害のおそれ (腎臓)
H372	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害 (神経系)
H373	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ (中枢神経系)

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
(P202)
熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
容器を密閉しておくこと。(P233)
容器を接地しアースを取ること。(P240)
防爆型の電気機器/換気装置/照明器具を使用すること。
(P241)
火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
静電気放電に対する措置を講ずること。(P243)
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱後は...をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
(P270)
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/...を着用すること。(P280)

応急措置

皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。(P302 + P352)
皮膚 (または髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
(P303 + P361 + P353)
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304 + P340)
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305 + P351 + P338)
ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P308 + P313)
ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308 + P311)
気分が悪い時は医師/...に連絡すること。(P312)
気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。
(P314)
特別な処置が必要である (毒劇法にて解毒剤をラベルに記載することが決まっている場合。このラベルの解毒剤を見よ)。(P321)
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P332 + P313)
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
(P337 + P313)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362 + P364)

火災の場合：消火するために SDS の 5 項に記載の消火剤を使用すること。(P370 + P378)

保管 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403 + P235)
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403 + P233)
施錠して保管すること。(P405)

廃棄 内容物／容器を廃棄物処理法及び地方自治体の条例に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名または一般名

化学名または一般名	濃度または濃度範囲	(化審法)	(安衛法)	CAS RN®
2-ブタノン	90 ≤ ~ ≤ 95%	2-542	既存	78-93-3
メチルイソブチルケトン	3.9%	2-542	既存	108-10-1

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。
蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合： 付着物を布にて素早く拭き取ること。
大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。
溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合： 直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
出来るだけ速く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合： 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

医師に対する特別な注意事項： データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	炭酸ガス 泡 粉末 乾燥砂 霧状強化液
使ってはならない消火剤：	水 棒状強化液を消火に用いてはならない。
特有の危険有害性：	データなし
特有の消火方法：	安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から素早く取り除くこと。 指定の消化剤を使用すること。 高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却すること。 消火活動は風上より行うこと。 水を消火に用いてはならない。
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置：	適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置：	作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用すること。 屋内では換気をしっかり行うこと。 屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行うこと。
環境に対する注意事項：	河川への流出等により、環境への影響を起こさないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移すこと。 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収すること。 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止すること。
二次災害の防止策：	周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。 付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除くこと。 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備すること。

7. 取扱い及び保管上の注意：

取扱い：	
技術的対策：	換気の良い場所で取り扱う。 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止すること。 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型

(安全増型)を使用すること。
工具は火花防止型のものを使用すること。
密閉された場所における作業には、十分な局所換気装置を
付け、適切な保護具を付けて作業すること。

安全取扱注意事項： 容器はその都度密栓すること。
使用済みウエス、塗料カス、スプレードスト等は廃棄する
まで水に漬けておくこと。
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用すること。

接触回避： 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具
を着用すること。

衛生対策： 取扱後は手・顔等を良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保
護具を持ち込まない。

保管：

安全な保管条件： 日光の直射を避ける。
漏れ、あふれ、飛散しないような必要な措置を講ずること。
通風の良いところに保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。
火気、熱源から遠ざけて保管すること。
盗難防止のために施錠保管する。

安全な容器包装材料： データなし

8. ばく露防止及び保護措置

化学名または一般名	管理濃度	許容濃度（産衛 学会）	許容濃度 （ACGIH）
メチルエチルケトン	200ppm	設定なし	200ppm
メチルイソブチルケトン	20ppm	設定なし	20ppm

設備対策： 取扱設備は防爆型を使用すること。
排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにすること。
液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースを
とるように設備すること。
取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれ
ないような設備とすること。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等、作業
者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等によ
り作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の
底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

保護具：

本製品は不浸透性保護具着用が義務付けられている

呼吸用保護具： 有機ガス用防毒マスクを着用すること。
密閉された場所では送気マスクを着用すること。
その他の有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マ
スクを着用すること。

手の保護具:	有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具:	取り扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚及び身体の保護具:	静電塗装作業を行う場合には、帯電防止服、通電靴を着用すること。 労働衛生保護具の日本産業規格に満たすものを使用すること。
特別な注意事項:	データなし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
形状:	液体
色:	品名の色調に従う
臭い:	製品の種類に従う
融点/凝固点:	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲:	データなし
可燃性:	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	1.4% ~
引火点:	-8 °C
自然発火点:	404 °C
分解温度:	データなし
pH:	データなし
動粘性率:	データなし
溶解性:	データなし
n-オクタノール/水分分配係数(対数値):	データなし
蒸気圧:	12,732(25)Pa(20°C)
密度及び/または相対密度:	データなし
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	特に情報を有していない。
化学的安定性:	特に情報を有していない。
危険有害反応可能性:	特に情報を有していない。
避けるべき条件:	特に情報を有していない。
混触危険物質:	特に情報を有していない。
危険有害な分解生成	NOx、CO、その他の低分子モノマーなどのガスが発生す

物： る。
その他有機化合物の一般的取扱注意及び3価Crを0.6~1.6%含有する為の注意が必要です。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）：	データなし メチルエチルケトン: 区分に該当しない メチルイソブチルケトン: 区分に該当しない
急性毒性（経皮）：	データなし メチルエチルケトン: 区分に該当しない メチルイソブチルケトン: 区分に該当しない
急性毒性（吸入：気体）：	データなし メチルエチルケトン: 区分に該当しない メチルイソブチルケトン: 区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）：	データなし メチルエチルケトン: 区分4 メチルイソブチルケトン: 区分3
急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）：	データなし メチルエチルケトン: 分類できない メチルイソブチルケトン: 分類できない
皮膚腐食性・刺激性：	区分2 メチルエチルケトン: 区分2 メチルイソブチルケトン: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：	区分2 メチルエチルケトン: 区分2A メチルイソブチルケトン: 区分2B
呼吸器感作性：	データなし メチルエチルケトン: 分類できない メチルイソブチルケトン: 分類できない
皮膚感作性：	データなし メチルエチルケトン: 分類できない メチルイソブチルケトン: 分類できない
生殖細胞変異原性：	データなし メチルエチルケトン: 分類できない メチルイソブチルケトン: 分類できない
発がん性：	区分2 メチルエチルケトン: 分類できない メチルイソブチルケトン: 区分2
生殖毒性：	データなし メチルエチルケトン: 分類できない メチルイソブチルケトン: 分類できない
生殖毒性・授乳影響：	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	区分2（腎臓） 区分3（気道刺激性、麻酔作用） メチルエチルケトン: 区分2（腎臓）

メチルイソブチルケトン: 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) :

区分1 (神経系)
区分2 (中枢神経系)

メチルエチルケトン: 区分1 (神経系)
メチルイソブチルケトン: 区分1 (中枢神経系)

誤えん有害性 :

データなし
メチルエチルケトン: 分類できない
メチルイソブチルケトン: 分類できない

その他 :

健康に有害となる恐れがある。
有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
発癌性の疑いがある物質を含有している。
人の健康に重大な影響を与える恐れがある物質を含有している。
環境を経由して人の健康に影響を与える恐れのある物質を含有している。

12. 環境影響情報

水生環境有害性短期 (急性) :

データなし
メチルエチルケトン(区分に該当しない)
メチルイソブチルケトン(区分に該当しない)

水生環境有害性長期 (慢性) :

データなし
メチルエチルケトン(区分に該当しない)
メチルイソブチルケトン(区分に該当しない)

生態毒性 :

データなし

残留性・分解性 :

混合物としてのデータがない

生体蓄積性 :

混合物としてのデータがない

土壤中の移動性 :

混合物としてのデータがない

オゾン層への有害性 :

データなし
メチルエチルケトン(分類できない)
メチルイソブチルケトン(分類できない)

その他 :

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する放棄に従って処理を行うか、委託をすること。
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に従って処理

をすること。

汚染容器及び包装： 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

14. 輸送上の注意

国際規制：

国連番号： UN1263
品名： 塗料又は塗料関連物質 (PAINT or PAINT RELATED MATERIAL)
クラス： 3
容器等級： II
海上規制情報： データなし
海洋汚染物質： データなし
MARPOL 73/78、附属書II、IBCコードに従ってばら積み輸送される液体物質： データなし
航空規制情報： データなし

国内規制：

陸上規制情報： 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
荷送り人は運送業者に運搬注意書(イエローカード)を交付すること。
海上規制情報： 船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。
航空規制情報： 航空法に定めるところに従うこと。

特別の安全対策： 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

緊急時応急措置指針番号： 128

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)： 第一種
・メチルイソブチルケトン

労働安全衛生法： 危険物：引火性の物
・ノルマルヘキサン、エチレンオキシド、アセトン、ベンゼン、メチルエチルケトンその他の引火点が零下三〇度以上零度未満の物、
・メタノール、エタノール、キシレン、酢酸ノルマルーペンチル（別名酢酸ノルマルーアミル）その他の引火点が零度以上三〇度未満の物

有機溶剤中毒予防規則：第二種有機溶剤等
・メチルエチルケトン

特定化学物質等障害予防規則：第二類、特別管理物質、特別有機溶剤等

- ・メチルイソブチルケトン 別表第3第2号33の2

名称等を表示すべき危険物及び有害物

- ・メチルエチルケトン 規則別表第2の2034 令和7年4月1日施行
- ・メチルイソブチルケトン 規則別表第2の2029 令和7年4月1日施行

名称等を通知すべき危険物及び有害物

- ・メチルエチルケトン 規則別表第2の2034 令和7年4月1日施行
- ・メチルイソブチルケトン 規則別表第2の2029 令和7年4月1日施行

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質・特化則等・皮膚吸収性有害物質

- ・メチルイソブチルケトン
- ・メチルエチルケトン 令和6年4月1日

作業環境評価基準で定める管理濃度

- ・メチルエチルケトン
- ・メチルイソブチルケトン

がん原性に係る指針対象物質

- ・メチルイソブチルケトン

毒物及び劇物取締法：

政令・劇物

- ・政令第2条第1項第98号の13メチルエチルケトン

化審法：

優先評価化学物質

- ・メチルイソブチルケトン

(取消) 優先評価化学物質

- ・メチルエチルケトン

消防法：

第4類 引火性液体 第一石油類（非水溶性） 危険等級II

大気汚染防止法：

揮発性有機化合物（VOC）

・法第2条第4項 大気中に排出され、又は飛散した時に気体である有機化合物（浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定める物質を除く。）

海洋汚染防止法

危険物：メチルエチルケトン

有害液体物質Z類：メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン

悪臭防止法：

法施行令第1条 特定悪臭物質：メチルイソブチルケトン

麻薬及び向精神薬取締法・覚醒剤取締法:	法別表第四及び令第4条の麻薬・向精神薬原料(メチルエチルケトン)
道路法:	車両の通行の制限 ・施行令第19条の13 毒物及び劇物取締法(昭和二十五年法律第三百三号)第二条第一項に規定する毒物又は同法第二条第二項に規定する劇物 ・施行令第19条の13 消防法第二条第七項に規定する危険物(同法別表に掲げる第四類の危険物にあつては、危険物の規制に関する政令(昭和三十四年政令第三百六号)第一条の六に規定する引火点を測定する試験において、一気圧において、引火点が七十度未満の温度で測定されるものに限る。)
船舶安全法:	危険物 引火性液体類
航空法:	危険物 引火性液体

16. その他の情報

参考文献:	(社)日本塗料工業会 SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物用(塗料工)] (社)日本塗料工業会 SDS 用物質データベース(塗料用) (独)製品評価技術基盤機構 化学物質安全性(ハザード)評価シート 溶剤ハンドブック
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

その他:	危険、有害性の評価は現時点で入手出来る資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保障をなすものではありません。 また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特別な手扱いをする場合には用途・用法および状況に適した安全対策を実施の上、手扱いには十分に注意願います。 すべての化学製品には未知の危険性・有害性があり得るため、手扱いには細心の注意が必要です。 ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。 本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の含有量が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------